

Per

「運成」と答えて若さを保とう

勝者のインタビュー

森一久

年末年始は、前年活躍した人や今年期待さ

れる人が登場するテレビ番組が多い。ゴルフ

賞金王、スホーワ等のタイトルホルダー、最長寿者

等々を相手に、聞き手の質問は、「成功の秘

訣は？」「収らうていましたね、」「日頃の

健康法は、」と、そのうまくいった原因を、

ノウハウを何とか引き出して伝えようとする

しかしその答は、多く視聴者を満足させる

＞

ものではない。日く「いや金く運ですぬ」
 「ツキですぬ。最初負けたのでアク抜けした
 。」なかでも横綱を倒した新人力士などは何
 そきいてもうア、ウア、というだけの微笑
 ましいシーンを見せてくれる。
 「いや長生きの秘訣などと聞かれても」と
 困りきつている御老人相手に、恰好のつかな
 いアサウンスカーが「朝起きは、就寝は、散歩
 は、好物は、と質問とならべた。うつか
 り「ヨーグルト、いや紅茶キノコなど」と答

之よろものなら、健康食品ブームかまた一つ
まき起るといふわけである。

私もそんなシーンをも漫然とながめながら、

さすが一芸に秀でる人は謙虚なものだなあれ

と感心したり、
「クヨクヨ、イライラしない

のたいいし、これは尤もと自戒したりして

たか、とうやらこれは単なる謙遜などではな

くて、人生のミステリーがかくされていろ

てはなにかと思ふようになった。

原因さばしの流行

いふ

従来の基準やしきたりが通用しなくなった
 昨今、国際的にも国内でも、国や企業やまた
 個人が、政策や経営の進め方について、よい
 成果を生むためのポイントやノウハウや秘訣
 を知りたいという欲求が強くなつた。人間と
 いうのは、この世の中に原因なくして物事は
 起らないと考へたがりまたそのように教育さ
 れてきた生物だから、何かがおきると、とく
 に羨ましいような出来事をみると、その原因
 ・理由を詮索してそれが判ると安心し、まね

人間はとりまぐれのもの一部しか見えないのだ

すれば自分にも幸いがあると信じて努力して
みたり、その原因が手のとどかないと分れば
生れかわる他なしとあきらめをつける。
原因さがしといつても、~~歴史~~ ^{社会}史の中に前例とさ
がすとか、当事者やその周囲の人に直接あた
つてみることになるわけである。^が ~~そのとき~~ ^{もし}
器用な評論家などがその原因なるものを論の
頭に入りやすい言葉をうまく表現したり、あ
る集団の潜在プライドをくすぐるようない
方で伝えたりすると、たちまち「それだ、そ

れ。それで行くといふ大合唱に発展する。
最近の「民活」ブームもどうもその辺から
きたように思えるし、^{第一}官活といふ言葉
をみないのは語呂がわるいからか、不思議で
ある。「官活」なくしては、国民も筆者の分
野なども、ホーレスと思うのだが……。
「老い」の本質
始末が悪く、また深刻なことになるかな
いのほ、当事者か自分のいままでのやり方と
最善と思ひこんでいるケースであらう。国、

団体、企業、個人にしろ、その主体がいまま
でとつてきたモラル、主義、体制・制度、し
きたり等々——これらをひつくるめて文化
と——いつては漠然と^{すき}して適当な日本語がない
英語のインスティテューションというのがど
うやらびつたりするが——とにかくいままで
のやり方で何社でも何でも通用するものと信
じてこんでいる場合、^{散見する}この状況こそ
「老い」というものの本質ではなからうか。
例をあげればきりがないが、超大国には、

ひ
か
て

4

運がよくて、そうなる。たなごと思つて、
は内部にいないよう、で、時代が変るうが、新
しいものが現れようが、何とか自分のイニス
ティに閉じこめようとし、自分の法律を他国
に押しつける位は朝飯前。昨年の4エルノブ
イリ事故以来、何故米ソだけで原子炉の大事
故が、^{るの}おき、^{るの}か、とよく聞かれるので、その
辺が原因の一つ、と筆者は答えることにして、
いろいろだが、^{ひひ}日本も経済大国など、とくす
ぐら、その強い競争力の原因、ノラハ、と

求めて来訪する外人も多くなつた。最初のうちには、軍備放棄させらへたのが幸運だつたと
か、無我夢中で働いて、なとときわめて形勢
~~井~~ 師 答しかできなかった。近頃は
「日本式空管は……」などという理屈が散見
されるようになった。どうやら要注意の初老
の段階にさしかかつたのだらうか。
人間は所詮、「運かいしと思つている間
が花、なのであらう。

おめり